

応募者より提出された実施計画書等をもとに

- 二酸化炭素削減効果
- 中小企業の該当の有無
- 総合効率化計画の認定、グリーン経営認証、ISO14001の認証等の取得状況の有無
- 他事業者への波及効果
- 事業の実現可能性・継続可能性

等に基づき審査を行い、予算の範囲内で補助事業を採択します。

現在、令和2年度の審査基準を機構HPに掲載していますので参考としてください。

なお、対象事業の基本的要件及び対象事業の要件に適合しない申請については審査を行いません。

(補助対象となる事業に適合する申請であっても、応募内容によっては、補助額の減額又は不採択とする場合があります。)

【注意】

- ・ 採択を受けた後、**交付申請書類を提出**してください。
- ・ 機構は交付申請書類を審査のうえ**交付決定を通知**します。
- ・ **交付決定日以降に発注等の事業を開始**してください。
(交付決定日前に発注等を行った経費は、補助対象になりません。)



【補助対象外経費の代表例】

- ・ 既存施設の撤去費、廃材の運搬費、廃材の処分費等
- ・ 二酸化炭素排出削減に寄与しない周辺機器、オプション品等に係る経費

【維持管理】

補助事業により導入した設備等は、補助事業者の責任の下で適切な維持管理が講じられるものであること。

【二酸化炭素の削減量の把握】

補助事業の完了後は、二酸化炭素の削減量の把握を行う必要がある。

【事業報告書の作成及び提出】

補助事業者は、補助事業の完了の日の属する年度の**終了後3年間、毎年度の二酸化炭素排出削減効果についての事業報告書を提出すること。**

【他の補助事業との関係】

補助対象経費には、**国からの他の補助金**（負担金、利子補給金及び適正化法第2条第4項第1号に掲げる給付金及び同項第2号に掲げる資金を含む。）**と重複する対象費用を含むことはできない。**

【補助事業完了後の検証】

補助事業の完了日の属する年度以降、必要に応じて環境省から委託を受けた団体が**現地調査**を行う場合がある。

【事業内容の発表等について】

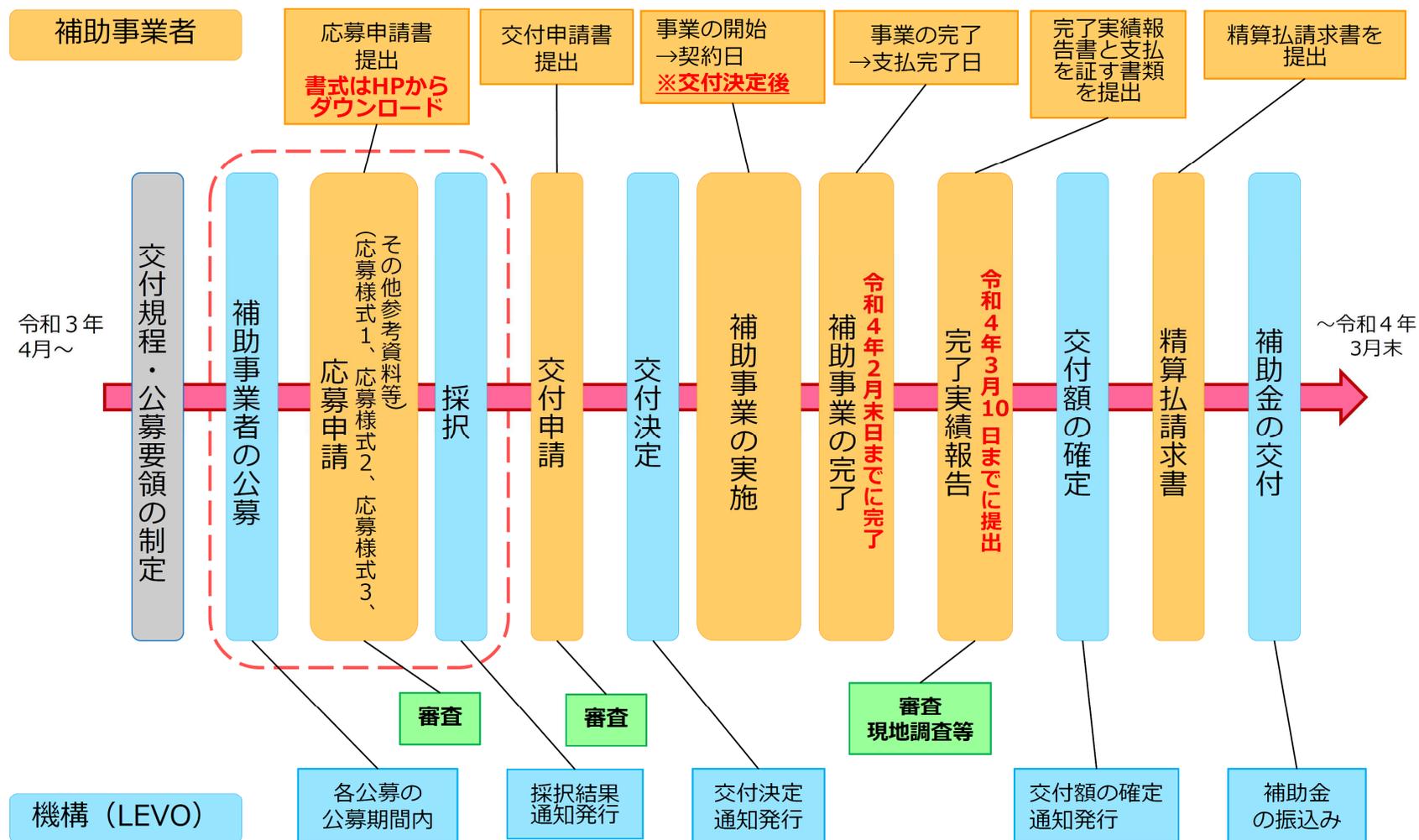
本事業の実施内容・成果については、**積極的に公表するように努める**とともに、実施内容・成果の公表・活用・社会実装等に当たっては、**社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業（環境省補助事業）によるもの**であることを必ず**明示**すること。

【応募書類の数値の記入に当たって】

金額については小数点以下を切り捨て、その他の数値については小数点第2位を四捨五入して記載すること。

実施計画書の記入欄が少ない場合は、様式を引き伸ばして使用すること。

補助事業の流れ



【事業の開始】

機構からの交付決定を受けた後に、事業を開始すること。

- ・ 契約・発注日は、機構の交付決定日以降
- ・ 原則として競争原理が働くような手続きによって相手先を決定(例：3社見積)

【完了実績報告書の提出】

令和4年2月末日までに補助事業を完了（支払いが完了すること。）

事業完了後30日以内、または令和4年3月10日のいずれか早い日までに**完了実績報告書（様式第11）**を提出

【事業報告書の提出】

補助事業の完了の日の属する年度の終了後3年間の期間、各年度終了後30日以内（4月30日まで）に事業報告書（様式第16）を提出

事業報告書の証拠となる書類は、報告に係る年度終了後、3年間保存

【経理書類の保管】

経理帳簿及び証拠書類は、他の経理と明確に区分して整理し、補助事業の完了日を含む年度の終了後、5年間保存

【取得財産の管理】

補助事業により取得、または効用が増加した財産について、**取得財産等管理台帳（様式第10）を整備し、管理状況を明らかにしておく。**

それらの財産について、処分（目的外使用、譲渡、交換、貸し付け、担保、取壊し、廃棄）する場合は事前に機構に申請・承認が必要となる。

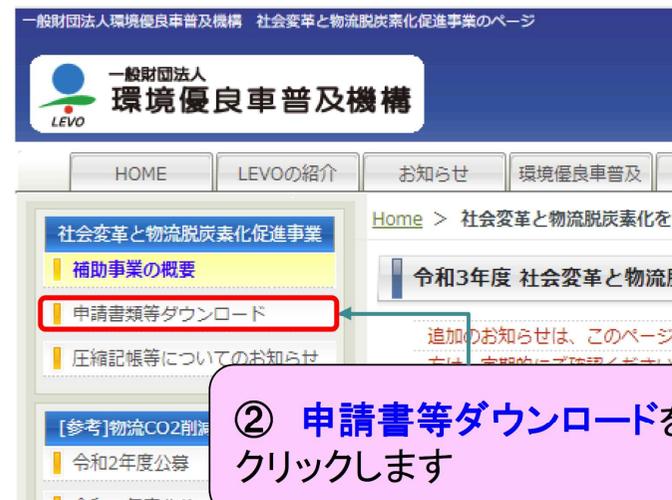
応募申請書のダウンロード

申請書は、ホームページの「申請書類等ダウンロード」からダウンロードしてください。年度ごとに書式が変わっているので、必ず令和3年度の申請書類をご使用ください。



① 優良環境車普及機構 TOPページ
社会変革と物流脱炭素化促進事業
>> 詳細情報 をクリックします

詳しい詳細は
応募申請書類作成・提出について
を参照してください



② 申請書等ダウンロードを
クリックします

応募申請書【応募様式1】

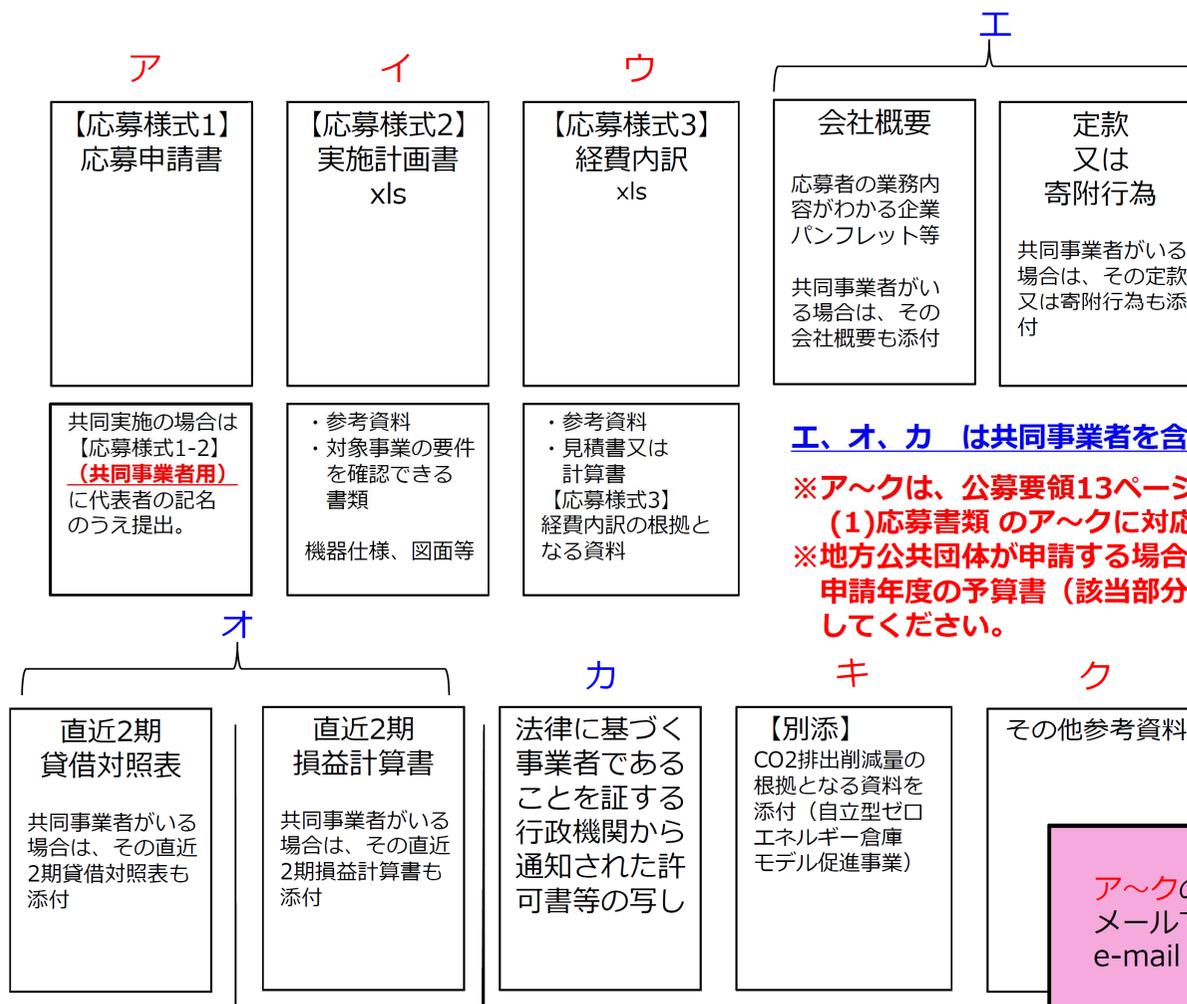
様式	書類名	
【応募様式1】	応募申請書	
	応募申請書(共同事業者用)	

実施計画書【応募様式2】、経費内訳【応募様式3】、別添

【応募様式2】 実施計画書	【応募様式3】 経費内訳	別添
		
		-
		-

③ アイコンをクリックすると
応募書類がダウンロードできます





エ、オ、カ は共同事業者を含む。

※ア～クは、公募要領13ページ 5.応募の方法 (1)応募書類のア～クに対応しています。

※地方公共団体が申請する場合はエ、オに代えて申請年度の予算書（該当部分抜粋可）を添付してください。

ア～クの書類の電子データをメールで送信。
e-mail : butsuryu@levo.or.jp



本補助金については、国庫補助金である公的資金を財源としておりますので、社会的にその適正な執行が強く求められており、当然ながら、機構としましては、補助金に係る不正行為に対しては厳正に対処します。

1. 応募の申請者が機構に提出する書類には、如何なる理由があってもその内容に**虚偽の記述を行わないでください。**
2. 機構から補助金の**交付決定を通知する前において発注等を行った経費については、**交付規程に定める場合を除き補助金の**交付対象とはなりません。**
3. 補助金で取得し、又は効用の増加した財産（取得財産等）を、当該財産の処分制限期間（法定耐用年数）内に処分（補助金の交付目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、又は取壊し（廃棄を含む。））をすることをいう。）しようとするときは、**事前に処分内容等について機構の承認**を受けなければなりません。なお、機構は、必要に応じて取得財産等の管理状況等について調査することがあります。
4. 補助事業の適正かつ円滑な実施のため、その実施中又は完了後に**必要に応じて現地調査等を実施します。**
5. 補助事業に関し**不正行為が認められたときは、**当該補助金に係る交付決定の解除を行うとともに、支払い済の補助金のうち解除対象となった額を**返還していただくこと**になります。
6. 補助金に係る不正行為に対しては、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）の第29条から第33条において、刑事罰等を科す旨規定されています。
7. 補助金の応募ができる者は、別紙に示す**暴力団排除に関する誓約事項に誓約できる者**です。
8. 補助事業に係る資料等は、事業完了の属する年度の終了後**5年間、保存**してください。

- ✓ 無人航空機(ドローン)に関する政府の取組
- ✓ ドローン物流ビジネスモデル検討会について
- ✓ ドローン物流への支援制度について
- ✓ **レベル4実現に向けた制度整備の状況**
- ✓ 総合物流施策大綱について

背景・課題

- 現行では飛行を認めていない「**有人地帯（第三者上空）での補助者なし目視外飛行**」（レベル4）を2022年度を目途に**実現**する目標が成長戦略実行計画に明記。
- 第三者の上空を飛行することができるよう、**飛行の安全を厳格に担保する仕組み**が必要。
- 利用者利便の向上のため、その他の飛行についても**規制を合理化・簡略化**する必要。



レベル4 実現に向けた制度整備／許可・承認の合理化・簡略化

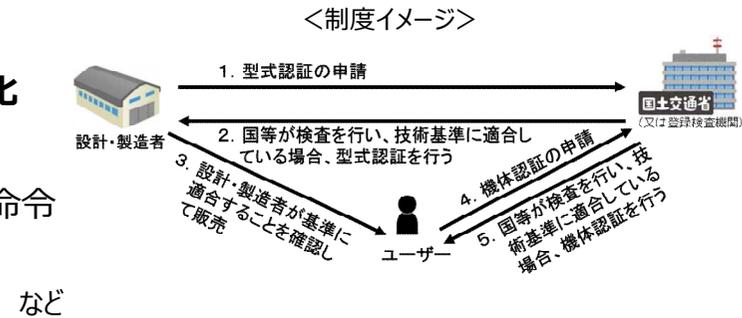
現行制度：①**一定の空域**（空港周辺、高度150m以上、人口密集地域上空）、②**一定の飛行方法**（夜間飛行、目視外飛行等）で無人航空機を飛行させる場合は飛行毎に**国土交通大臣の許可・承認が必要**

飛行の態様	現行法の取り扱い	改正後
「 第三者上空 」での飛行 (レベル4が該当)	飛行不可	新たに飛行可能 (飛行毎の許可・承認※) ※運航管理方法等を確認
「 第三者上空 」以外で 上記①、②に該当する飛行	飛行毎の許可・承認	原則として飛行毎の許可・承認は不要 ※一部の飛行類型は飛行毎の許可・承認が必要 ※機体認証・操縦ライセンスを取得せずに、従来通り飛行毎の許可・承認を得て飛行することも可 ※飛行経路下への第三者の立入り管理等を実施
これら以外の飛行	手続き不要	手続き不要

- ①**機体認証（新設）** を受けた機体を、
- ②**操縦ライセンス（新設）** を有する者が操縦し、
- ③**運航ルール（拡充）** に従う

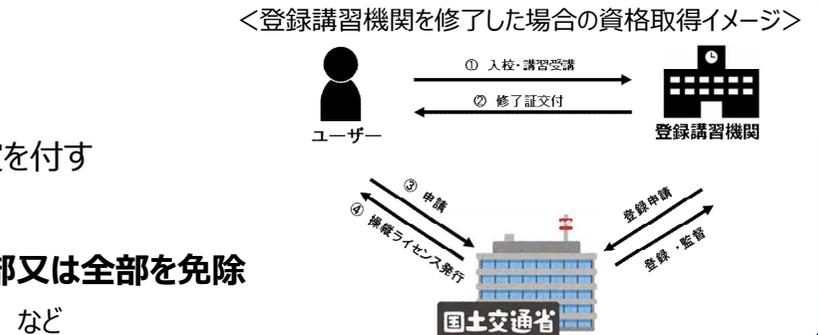
① 機体認証の制度創設

- 国が機体の安全性を認証する制度（機体認証）を創設
- 製造メーカーが型式認証を取得している場合、機体認証の手続きを簡素化
- 一種認証（第三者上空飛行に対応）／二種認証に区分
- 使用者に機体の整備を義務付け、安全基準に適合しない場合には整備命令
- 国の登録を受けた民間検査機関による検査事務の実施を可能とする



② 操縦ライセンスの制度創設

- 国が試験（学科・実地）を実施し、操縦者の技能証明を行う制度を創設
- 一等資格（第三者上空飛行に対応）／二等資格に区分
- 機体の種類（固定翼、回転翼等）や飛行方法（目視外飛行等）に応じて限定を付す
- 国の指定を受けた民間試験機関による試験事務の実施を可能とする
- 国の登録を受けた民間講習機関の講習を修了した場合は、試験の一部又は全部を免除



③ 運航ルールの整備

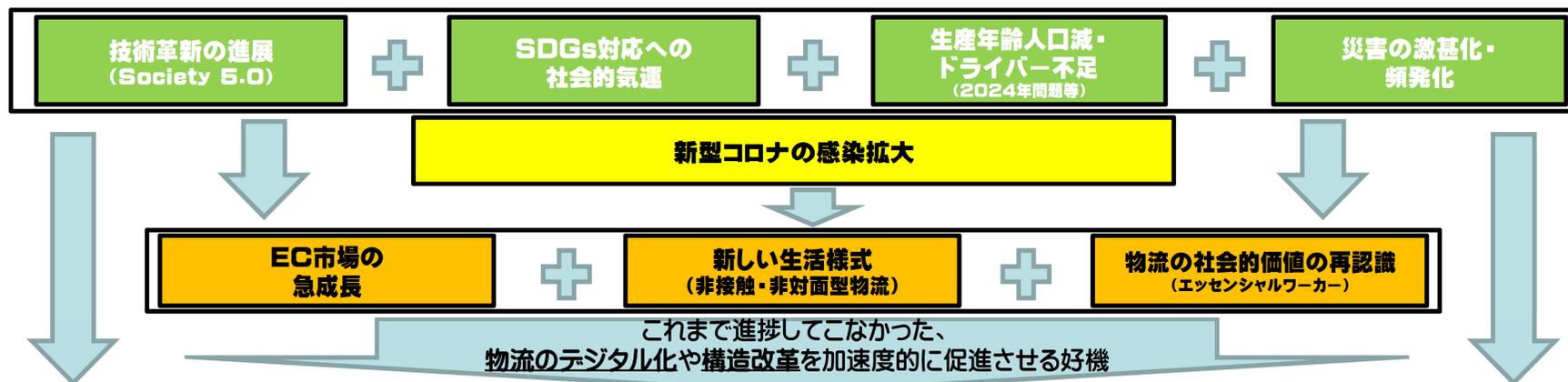
- 第三者上空飛行の運航管理の方法等は個別に確認（許可・承認）
 - 第三者上空以外の飛行では、飛行経路下への第三者の立入りを管理
 - 共通ルールとして、無人航空機を飛行させる者に対し、
 - ✓ 飛行計画の通報
 - ✓ 飛行日誌の記録
 - ✓ 事故発生時の国への報告を義務化
- など

運輸安全委員会による事故調査の実施

- 運輸安全委員会が調査対象とする事故に、無人航空機に係る事故（人の死傷、物件の損壊、航空機との衝突・接触等）のうち重大なものを追加
- 飛行者から事故の報告を受けた国土交通大臣に
→ 運輸安全委員会への通報を義務付け

- ✓ 無人航空機(ドローン)に関する政府の取組
- ✓ ドローン物流ビジネスモデル検討会について
- ✓ ドローン物流への支援制度について
- ✓ レベル4実現に向けた制度整備の状況
- ✓ **総合物流施策大綱について**

総合物流施策大綱(2021年度～2025年度)の概要



新型コロナ流行による社会の劇的な変化もあいまって、我が国の物流が直面する課題は先鋭化・鮮明化

① 物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化 (簡素で滑らかな物流)

- (1) 物流デジタル化の強力な推進
- (2) 労働力不足や非接触・非対面型の物流に資する自動化・機械化の取組の推進
- (3) 物流標準化の取組の加速
- (4) 物流・商流データ基盤等
- (5) 高度物流人材の育成・確保

③ 強靱で持続可能な物流ネットワークの構築 (強くてしなやかな物流)

- (1) 感染症や大規模災害等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築
- (2) 我が国産業の国際競争力や持続可能な成長に資する物流ネットワークの構築
- (3) 地球環境の持続可能性を確保するための物流ネットワークの構築(カーボンニュートラルの実現等)

② 労働力不足対策と物流構造改革の推進 (担い手にやさしい物流)

- (1) トラックドライバーの時間外労働の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備
- (2) 内航海運の安定的輸送の確保に向けた取組の推進
- (3) 労働生産性の改善に向けた革新的な取組の推進
- (4) 農林水産物・食品等の流通合理化
- (5) 過疎地域におけるラストワンマイル配送の持続可能性の確保
- (6) 新たな労働力の確保に向けた対策
- (7) 物流に関する広報の強化

物流DX

機械化・デジタル化を通じて**物流のこれまでのあり方を変革**すること

(物流DXにより、他産業に対する物流の優位性を高めるとともに、我が国産業の国際競争力の強化につなげる)

- ◆既存の**オペレーション改善・働き方改革**を実現
- ◆物流システムの規格化などを通じ**物流産業のビジネスモデルそのものを革新**

サプライチェーン全体での**機械化・デジタル化**により、情報・コスト等を「見える化」、作業プロセスを**単純化・定常化**

物流分野の機械化(主要な取組例)

幹線輸送の自動化・機械化



トラック隊列走行／
自動化



自動運航船

ラストワンマイル 配送の効率化



ドローン配送

庫内作業(※)の 自動化・機械化



※ピッキング、
デパレ/パレタイズ、
横持ち・縦持ち等



自動配送ロボ

物流のデジタル化(主要な取組例)

- ・手続きの電子化(運送状やその收受の電子化、特車通行手続の迅速化等)による業務の効率化
- ・点呼や配車管理のデジタル化による業務の効率化
- ・荷物とトラック・倉庫のマッチングシステムの活用による物流リソースの活用の最大化



※民間企業の取組の例

相互に連携

- ・トラック予約システム導入による待ち時間の削減
- ・SIP物流(物流・商流データ基盤)やサイバーポートの構築により、サプライチェーン上の様々なデータを蓄積・共有・活用し、物流を効率化
- ・AIを活用したオペレーションの効率化
(「ヒトを支援するAIターミナル」の各種取組や、AIを活用した配送業務支援等)



AIを活用した配送
ルートの自動作成

物流における標準化

標準化を促進

ソフトの標準化
(伝票データ等)

業務プロセスの標準化

物流DXを促進

ハードの標準化
(外装・パレット等)

ご静聴ありがとうございました。



北陸信越運輸局

Hokuriku-Shin'etsu District Transport Bureau